

全国福祉用具相談・研修機関協議会

平成 29 年度全国会議 開催要項

1 目的

第4回目の全国会議は、協議会の掲げるテーマ①在宅・施設等での福祉用具利用、②福祉用具相談が行える場づくり（テクノエイドセンター等）、③福祉用具に関わる人材の養成の中で、①・②を、昨年度に引き続き取り上げ、新たな方針・方向性について検討します。

具体的に①は、施設におけるロボット技術、特にコミュニケーションロボットの活用の展開方法や付加すべき事項について検討し、②は、地域における福祉用具や介護ロボットを活用したケア等の相談機関として、社会福祉施設（ユニットケア）の地域貢献としての可能性と民間型の相談センターの報告を通し、相談機関のあり方を検討します。

以上の議論を通し、「全国福祉用具相談・研修機関協議会」として、新たな方針・方向性を打ち出すと共に、内外へ提言することを目的に全国会議を開催します。

2 主催

全国福祉用具相談・研修機関協議会

3 期日

平成 29 年 10 月 26 日（木）13 時～10 月 27 日（金）12 時 40 分

4 会場

主婦会館プラザエフ 地下2階クラルテ 他

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 電話 03-3265-8111

5 参加対象者

- (1) 全国福祉用具相談・研修機関協議会会員
- (2) 介護実習・普及センター所長等の代表者並びに職員
- (3) 都道府県及び政令指定都市の関係職員
- (4) リハビリテーションセンターの関係職員
- (5) 福祉用具展示場の関係職員
- (6) 福祉用具相談機関の関係職員
- (7) 福祉用具研修機関の関係職員
- (8) その他関係者（病院・施設・訪問等での福祉用具相談・研修担当者等）

6 日程

別紙「プログラム」のとおり

7 参加費（税込）

福祉用具相談・研修機関協議会会員 参加者一人につき 2,000円
福祉用具相談・研修機関協議会非会員 参加者一人につき 12,000円

※1団体の参加者は、原則3名までとさせていただきます。

4名以上希望の場合は事務局までお問い合わせください。

8 情報交換会費（税込）

参加者一人につき 5,000円

9 参加費等の支払い方法

請求書を発行しますので、指定の銀行口座へ振込をお願いします。

振込手数料はご負担願います。銀行払込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。

10 参加申込み方法

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、平成29年9月15日（金）までに下記事務局まで郵送またはメール、FAXにてお申し込みください。

11 その他

【申込み・問い合わせ先】

全国福祉用具相談・研修機関等協議会 事務局

公益財団法人テクノエイド協会（担当：湯浅）

住所：〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

電話：03-3266-6884 FAX：03-3266-6885

Eメール：fukyu@techno-aids.or.jp

全国福祉用具相談・研修機関協議会 平成29年度全国会議プログラム
 【第1日目】10月26日(木) (敬称略)

時 間	プ ロ グ ラ ム
11:30 ～12:15	全国福祉用具相談・研修機関協議会 総会 議長：全国福祉用具相談・研修機関協議会 代表 記虎 孝年 (公益社団法人関西シルバーサービス協会 理事長)
12:30	受 付
13:00	開会式 全体進行：全国福祉用具相談・研修機関協議会 事務局 寺光 鉄雄 (公益財団法人テクノエイド協会 調査監) 開会の辞：全国福祉用具相談・研修機関協議会 代 表 記虎 孝年
13:10	挨拶 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策
13:30	特別講演：社会福祉法人伯耆の国 特別養護老人ホームゆうらく 理事長 山野 良夫 「ユニット型施設における福祉用具利活用の経緯・課題と今後の展望」
14:30	休 憩
14:45	行政説明1 厚生労働省 老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修指導官、介護ロボット開発普及推進官 小林 毅
15:15	行政説明2 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室 福祉用具専門官/障害福祉専門官 秋山 仁
15:45	休 憩
16:00	テーマ別検討1 「福祉用具導入・活用の新たな試み」 過去のテーマ別検討では「福祉用具の導入・活用」が要介護者の自立促進と介護職員の腰痛予防に繋がり、その相談対応としては、介護実習・普及センター、リハビリテーションセンター、そして昨年度から導入された障害者支援機器活用センターが機能することを確認してきました。 今回は、地域における福祉用具や介護ロボットを活用したケア等の相談機関として、社会福祉施設（ユニットケア）の地域貢献としての可能性と民間型の相談センターの報告を通して、相談機関のあり方を検討します。 進 行：全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表 中村 健治 (福祉用具プランナー研究ネットワーク 相談役) 報告者： ①森ノ宮医療大学 保健医療学部理学療法学科 教授 上田 喜敏 ②一般社団法人福祉用具活用相談センター 理事長 吉川 和徳
17:30	第1日目終了
17:40	情報交換会 進 行：全国福祉用具相談・研修機関協議会 監 事 田中 康之 (千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域連携部長)

【第2日目】 10月27日（金）

時 間	プ ロ グ ラ ム
9 : 0 0	受 付
9 : 1 5	ロボットデモンストレーション①「パロ」 大和ハウス工業株式会社 ロボット事業推進室 主 任 浦井 亜矢子
9 : 3 5	ロボットデモンストレーション②「ペッパー」 フューブライト・コミュニケーションズ株式会社 取締役 吉村 英樹
9 : 5 5	休 憩
1 0 : 0 5	<p>テーマ別検討2 「コミュニケーションロボットの利用実態と課題」</p> <p>国は、ロボット産業を将来我が国の基幹産業の一つに成長させるべく、ロボット産業育成に向けた取り組みを進めています。その中で、社会福祉施設従事者の負担軽減の観点から、施設におけるロボット技術の活用が強く期待されています。</p> <p>その一方で、こうした先進的技術を利用した介護ロボットの分野は、市場性・安全性・実用性の問題から開発・製品化がなかなか進んでいません。</p> <p>そこで、本セッションでは、施設におけるロボット技術、特にコミュニケーションロボットの活用の展開方法や、付加すべき事項について検討します。</p> <p>進行役：全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表 田上 優佳 (社会福祉法人播陽灘 特別養護老人ホームいやさか苑 施設長)</p> <p>報告者： ①社会福祉法人シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム新とみ 施設長 関口 ゆかり ②中部大学工学部ロボット理工学科 助 教 李 載始 ③栃木県立のぞわ特別支援学校 教 諭 須藤 典子</p>
1 1 : 5 0	休 憩
1 2 : 0 0	<p>テーマ別検討のまとめ</p> <p>進 行：全国福祉用具相談・研修機関協議会 監 事 田中 康之</p>
1 2 : 3 0	<p>閉会式（挨拶）：</p> <p>全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表 田上 優佳</p>
1 2 : 4 0	終了予定

会場ご案内図



主婦会館プラザエフ 地下2階 クラルテ(TEL 03-3265-8111)
〒102-0085 東京都千代田区六番町 15

JR「四ッ谷駅」 麴町口 徒歩1分
東京メトロ 丸ノ内線「四ッ谷駅」1番出口(徒歩3分)
東京メトロ 南北線「四ッ谷駅」3番出口(徒歩3分)

